

210mm (表紙の裏面です)

C'

また顕微鏡使用の利点としては、①手術視野に関して、明るく拡大された立体的な視野が得られる②神経組織を直視下に観察し愛護的に扱える③神経組織の圧迫要因を直視下に除去し確実な除圧が行える④硬膜周囲の静脈叢の確実な止血が行える⑤除圧操作にともなう骨・軟部組織の切除が最小限となり脊椎の支持性が温存されること等が挙げられます。

適応疾患は、主に腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアで、神経の圧迫を解除し、下肢症状、間欠跛行を改善します。下肢の痛みに関しては、術後早期に改善が見込まれますが、しびれは徐々に軽減してくることが多いです。通常、翌日離床は可能で、入院期間は1週間前後としておりますが、創部が問題なければ4～5日でも退院は可能です。腰痛に関しては、神経の圧迫による痛みであれば改善することはありますが、様々な原因で出現して



いることが多く、腰痛の改善については期待できません。また腰痛の原因にもなる腰椎の不安定性を有する場合は固定術を薦めさせていただく場合があります。

顕微鏡下でのMILD法は、侵襲が少ないため、翌日より離床が可能となっており、学会でも良好な手術成績が報告されています。

MIS-TKA

最少侵襲 人工膝関節置換術

人工膝関節置換術に関しても、症例を選んで最少侵襲種手術を進めていきます。一般的に人工膝関節における最少侵襲手技は、皮膚切開を小さく、筋の切離を最小限にし、膝蓋骨を翻転しないことにより膝蓋腱や四頭筋に対する侵襲を軽減します。従来の皮膚切開は20～30cmと大きいものでしたが、8～12cmの皮膚切開で手術は可能です。ただ、人工関節における一番重要な点は、インプラントの設置にあります。また無理に皮膚切開を小さくすると皮膚の損傷などの危険性



も高まるため、当院では、皮膚切開の長さは従来と比べると小さくなりますが重要視はしておりません。それよりも、MISの手技、MIS専用の機器を用いて四頭筋、膝蓋腱などの筋や靱帯への損傷を最小限とし正確なインプラント設置を行うことを重視しております。術後のリハビリテーションをより早く開始し、早期退院が可能な手技となっております。

以上のような内容で、保存療法も含め、正確で丁寧な診療をすすめていきたいと考えております。ご不明な点などございましたら、お気軽にご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



210mm

B'



6月

耳原総合病院手術部では常日頃から「安心・安全」をモットーに日々手術を行っています。お気軽にご紹介ください。

の手術件数をご紹介します。

全身麻酔 56件
その他麻酔(腰麻・局麻・その他) 76件

診療科	麻酔	術式	件数
外科	全身麻酔	乳腺悪性腫瘍手術	4
		乳管・腺葉部分切除術	1
		甲状腺手術	1
		胃全摘術	1
		胃切除術(内、腹腔鏡下1件)	3
		腹腔鏡下結腸切除術	4
		腹腔鏡下直腸低位切除術	3
		腹腔鏡下人工肛門造設術	3
		腹腔鏡下小腸切除術	1
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	4
		腹腔鏡下虫垂切除術	5
		臍体尾部切除術	1
		腹腔鏡下ヘルニア手術(腹壁癒着)	1
		ヘルニア嵌頓手術	1
		腸管癒着症手術	1
	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	ヘルニア手術(単径)	2
		リンパ節摘出術	1
		乳腺腫瘍摘出術	1
呼吸器外科	全身麻酔	その他	3
		胸腔鏡下肺切除術	1
心臓血管外科	全身麻酔	胸膜外肺剥皮術	1
		弁置換手術	1
		冠動脈、大動脈バイパス移植術	1
		腹部大動脈瘤切除術	2
	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	血管移植術、バイパス移植術	1
		内シャント設置術	5
		その他	2

診療科	麻酔	術式	件数
泌尿器科	全身麻酔	経尿道的前立腺手術(TUEB)	2
	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	膀胱悪性腫瘍手術6(TUR-BT)	4
		経尿道的前立腺手術(TURis-P)	3
		経尿道的尿管ステント留置術	4
		経尿道的尿管碎石術	1
		膀胱結石、異物摘出術	2
		高位精巣摘出術	1
		腎嚢造設術(PNS)	1
		前立腺生検	12
		包茎手術	1
整形外科	全身麻酔	骨折観血的手術	1
		骨内挿入物除去術	1
		椎弓切除術	1
		下肢骨折(プレート固定)	1
		関節鏡手術	1
	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	骨折観血的手術	3
		骨内挿入物除去術	1
		手根管開放手術	1
		四肢部分切断術	2
		その他	1
産婦人科	全身麻酔	子宮全摘術(内、腹腔鏡下2件)	6
		腹腔鏡下付属器腫瘍摘出術	2
		腹腔鏡下子宮外妊娠手術	2
	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術	2
内科	その他麻酔 (腰麻・局麻・その他)	子宮頸部切除術	1
		帝王切開術(内、緊急3件)	6
		白内障手術	10
		早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	4

207mm

A'

がん相談受付窓口をご存知ですか？

がん相談

耳原総合病院では、がん罹患患者様やそのご家族様に安心して診察を受けていただけるよう、さまざまなご相談をお受けする「がん相談受付窓口」を2011年2月1日開設致しました。地域住民のみなさんの健康を守っていくためには、日本人の1/2人が罹患し、1/3の死亡原因となっている『がん診療』に耳原ももっと力をいれていかなければならない……このような思いから2009年7月にがん診療支援センター準備室を立ち上げ、多くの職種それぞれの立場からがん診療を発展させていくための課題に取り組んでまいりました。その取組のなかでひとつ形となったのが、『がん相談受付窓口』です。今後このような取組をひとつずつ形にしていくなべく、活動してまいります。

がん診療支援センター センター長ご挨拶

みなさんこんにちは。耳原総合病院がん診療支援センター長の奥村です。

耳原総合病院では8年前から緩和ケア病棟、外来化学療法などを立ち上げ、同時に各科の専門医によるがん診療を行ってきました。今回はさらにはがん診療を強化するために、各科・各部署のセンターとしてがん診療支援センターを立ち上げました。患者様中心に多くの科や部署をまたがり情報を共有し、がん診療において少しでも多く患者様のニーズに応える診療を提供しようと考えております。私たちは、患者様や地域の先生方がわかりやすい情報発信を積極的に行い、いわゆる『がん難民』の患者様がいなくなるよう努力をしていく所存です。

がんの診断から診療、そして終末期を安ら



がん診療支援センター
センター長 奥村 伸二

かに過ごしていただく場所の提供を含め、職員一同今まで以上に努力してまいります。

そして2011年2月1日より個別のがんの悩みをお受けする場所を設置いたしました。地域の先生方におかれましても、お困りの方がいらっしゃいましたら、是非ご案内ください。患者様を通じて、地域の先生方との連携を深め、手を携えて共に歩んで参りたいと存じますので、今後ともよろしくお願いいたします。